

# 年頭のご挨拶

水見市長

堂 故 茂

新年おめでとうございます。

皆様には、さわやかな新春の門出をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、北陸において、今なお多くの方々が避難されている新潟県中越地震をはじめ、市内にも大きな爪痕を残した台風二十三号、新潟・福井県での大規模水害が発生しました。

一刻も早い復興を願うとともに、ボランティアやご寄附により被災者の援助にあたられ、温かなお気持ちをご寄せられた皆様にご心からお礼申し上げます。

また、昨夏は、降水雨量も少なく、記録的な猛暑に見舞われ、稲作への深刻な影響が心配されましたが、本市百年の大計である国営総合かんがい排水事業が五位ダムからの「大旱慈雨」をもたらし、豊稔の秋を迎えることができました。

更には、「忍者ハットリ君列車」の運行、国指定天然記念物淡水魚「イタセンバラ」の人工ふ化の成功、原田悠里の「氷見の雪」のヒットなどがありました。

そして、タイ国への小型定置網の敷設指導は、お互いの漁業文化への理解が深まり、着実に成果をあげております。

今年、昨年末に政府から示された三位一体改革の全体像の詰めの段階を迎え、全国の地方自治体にとり、大きな転換期となります。

市では、一昨年より、市民のご協力をいただき、「行財政健全化緊急プログラム」の遂行に努め、行財政のスリム化と、市民・地域活力の強化を図っており、昨年は、産業振興と雇用機会の充実に向け「地域産業・雇用対策本部」設置し、にぎわいづくりへの布石として「まちづくり戦略会議」を立ち上げました。

能越自動車道も高岡北インターが開通し、氷見インターの平成十八年度開通が間近に迫り、飛躍の時を迎えております。

「藤波の影なす海の底清み 沈く石をも珠とぞわが見る」(大伴家持)

古来より氷見はやすらぎと景勝の地であります。環境基本条例の制定と実施計画の策定、自然・人間賛歌の伝統文化を発信する「獅子舞ミュージアム」の建設、新たな顔づくりとして比美乃江大橋以北の市有地の活用、健やかに、たくましく子供らが成長する環境を整える次世代育成支援計画づくりなどを進めてまいります。

私は、氷見らしさ、シティーアイデンティティを掲げ、市民の智慧や意欲、参加により、活力と豊かさを生み出すまちづくりを推進し、氷見に生まれてよかったと実感できる故郷を築いていきたいと考えております。

終わりになりましたが、皆様のご健勝、ご多幸を祈念し、年頭のご挨拶といたします。



# 新年のご挨拶

富山県高岡農地林務事務所

所長 立花 洋一

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、平成十七年の輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃から土地改良区の皆様方には、農業の振興と農業農村整備事業の推進に、尽力とご支援を賜っておりますこととお礼申し上げます。

さて、農業や地域社会を取り巻く環境は、新たな米政策の展開や財政改革など、めまぐるしく変化しようとしています。

昨年は「国際コメ年」でありました。国際的には米の栄養価や生産性の高さが「食料問題」の解決に大きな役割を果たすと期待されてきました。しかし、日本においては残念なことに、この四十年の間で一人当たりの米の消費量が半減し、米の生産調整対策が始まってから三十五年経過しましたが、米の需給調整は進展していません。

そのため米政策の抜本的改革を目指し、平成二十二年まで「米づくりの本来あるべき姿」として、消費者重視・市場重視の考え方に立つて需要にあった安定的供給の米づくりが行われることを目的として、平成十四年十二月に米政策改革大綱が決定され、昨年から米政策改革がスタートしました。米政策改革の実施に向けて各地域で地域水田農業ビジョンの策定が進められ、ますます担い手への農地の集積が加速化されるようになっています。

又、農水省では本年三月に「新しい食料・農業・農村基本計画」の策定がなされます。新しい基本計画では、①品目横断的政策への転換②担い手・農地制度への見直し

③農業環境・資源保全政策への確立を主要課題として議論を重ねておられるところであり、八月の中間論点整理の公表の中では、農地や農業用水などの地域資源の適切な保全管理の重要性と支援の必要性が叫ばれており、水田農業と深く関わる土地改良区の役割と期待がますます大きくなつてきています。

財政改革では、地方六団体の「三位一体改革」に対する政府の全体概要が示されました。税源移譲すべき国庫補助事業として、農業農村整備事業関係では経営体育成・基盤整備事業や農道整備事業が提示されています。今後の動向に注視し、予算確保に精一杯努めて参りたいと考えております。

土地改良区は土地改良事業の実施と施設の維持管理を通じ、地域農業の振興のみならず農業・農村の持つ多面的な機能の発揮に多大なる貢献をしております。

新たな米政策による地域水田農業ビジョンに対応した広域的できめの細かい水管理や農地・農業用水等の多面的機能を持続するため、社会共通資本として地域住民と一体となった管理活動が必要となっております。

これからも地域づくりの主要な担い手として、土地改良区のさらなる活躍と皆様方のより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりになりましたが、水士里ネット氷見の限りないご発展と皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

第32回 通常総代会

平成十六年度 一般会計予算 二億五千五十万円  
特別会計予算 一億六千七百七十七万円

氷見市土地改良区の通常総代会が平成十六年三月二十六日午後一時三十分よりJA氷見市四階ホールで開催されました。

上程されました七案件は、すべて原案のとおり議決承認されました。

会議には来賓として公務ご多忙の折、堂故氷見市長様、藤田高岡農地林務事務所農地整備課長様のご出席を賜りました。

冒頭、廣沢理事長の挨拶の後、来賓として出席されましたお二人からご祝辞を頂戴いたしました。祝辞の中で厳しい行財政環境であっても土地改良区の果たす重要な役割に鑑み必要な支援を行なつてゆくとの力強いお言葉を頂きました。

会議に先立ち議長の選出が行なわれ、余川地区の水野間 哲氏が選ばれました。また、議長より議事録署名人に窪地区の東海弘さん、

上庄地区の越田 辰雄さんの両人を指名して議事に入りました。

当日、上程されました七案件は次のとおりです。

議案第一号

平成十六年度事業計画及び同収支予算について

事業では大浦地区の適正化事業など七件を実施

一般会計収支予算は、総額



堂故市長からお祝辞を賜りました

で二億五千五十万円となり、

収入の主なものとは特別賦課金

九千四十六万五千円、経常賦

課金六千六百一十一万二千円、

補助金・助成金等六千五十八

万五千円、区債・その他で三

千三百三十三万八千円となっ

ています。主な支出は事業償

還金等七千四百六十九万六千

円、各種事業費二千三百三十

二万円、国営事業維持管理

費五千百万円、事務所費三千

七百五十万円、分担金負担金

及びその他で六千三百九十八

万四千円となっております。

議案第二号

平成十六年度特別会計収支予算について

・国営かんがい排水事業積

立金

収支総額 一億六千七百七

十七万円

・転用決済積立金

収支総額 二億八百三十二

万円

・役員退任慰労積立金

収支総額 三百三十四万

職員退職給与積立金

収支総額 一億一千万円

・基本財産積立金

収支総額 六千四百八十三

万一千円

・維持管理積立金

収支総額 一億八千四百五

十七万円

・維持管理修繕積立金

収支総額 三千八百五十九

万一千円

・十二町湯沿岸管理区(三区)

収支総額 一億五百三十七

万七千円

議案第三号

平成十六年度農林漁業資金の借入について

議案第四号

平成十六年度一時借入金についで

議案第五号

平成十六年度組合費の賦課及び徴収方法について

議案第六号

平成十六年度現金の預入先について

議案第七号

平成十六年度役員報酬について

# 平成十六年度 第二回臨時総代会を開催

氷見市土地改良区の平成十六年度第一回臨時総代会が冬晴れの下、昨年の十二月二日午後二時三十分より、J A氷見市の四階ホールで開催されました。提出されました平成十六年度事業計画の変更及び同収支補正予算(案)など七議案すべてについて原案どおり議決承認されました。

開会にあたり廣沢理事長より挨拶があり、引き続き来賓として、臨席賜りました堂故市長及び立花富山県高岡農地林務事務所長よりご祝辞を頂戴しました。

市長からは、「近年の凶悪事件の被害者の低年齢化に歯止めをかけるために農業の果たす役割は非常に大きい。また、引き続き十二町潟排水機場の補修工事や国営造成施設の維持管理事業等に適切な支援を行なつてゆく。」等と述べられました。また、立花所長からは「昨年の『国際コメ年』を契機としてコメの価値を再認識してコメ作りに取り組んで欲しい。」等の意見を頂戴しました。

会議に先立ち、総代会の議長には熊無地区の前山 良夫氏が選出されました。また、議長からは議事録署名人に窪地区の東海 弘氏、宇波地区の山下 隆宣氏を指名して議事に入りました。

議決承認された議案は次のとおりです。

**議案第一号**  
平成十五年度事業報告及び収支決算の承認について

事業では大浦地区の適正化事業等七件が報告され、また収支決算では収入が二億八千百万円余り、支出が一億六千六百七十万円余りの内容が報告されました。尚、内訳は次ページの図表のとおりです。

**議案第二号**

平成十五年度特別会計収支決算及び同財産目録の承認について  
特別会計では国、県管かんがい排水事業積

**議案第三号**

立金など十件の収支と内容が報告されました。内訳は次ページの内訳表のとおりです。また、財産目録では資産合計で七億二百四十九万八千八百五十三円、負債合計で十四億七千五百七十二万四千六百六十三円となっております。

**議案第四号**  
平成十六年度特別会計収支補正予算の議決について

事業計画の変更では新規件と工種の変更に伴うもの一件です。補正予算では収支とも千八百七十万円を補正して本年度の収支予算を二億六千九百一十万円とするものです。補正の主な要因は収入では繰上償還賦課金の増によるもので、支出では触坂地内のため池災害に伴う仮設配管工事費と償還元利金等の増によるものです。

**議案第五号**

平成十六年度農林漁業資金の借入の変更  
議決について

**議案第六号**  
定款及び規約の一部変更議決について

**議案第七号**  
財産処分及び土地交換について

県道改良工事に伴う用地の処分二件、交換が一件です。



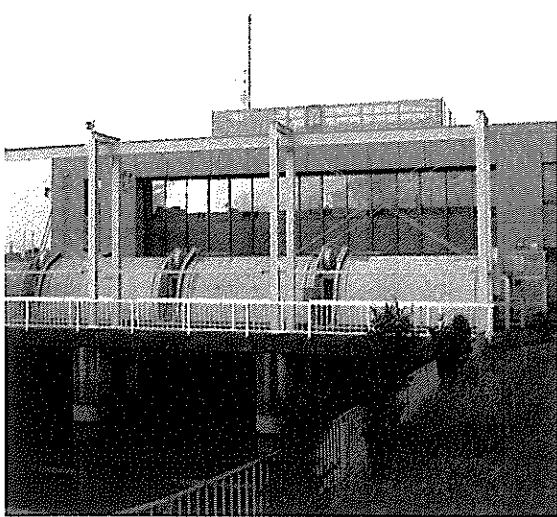
お祝辞を述べる堂故市長

## 十二町潟排水機場のポンプの補修工事を実施します

昭和五十九年の運転から二十年が経過してポンプの傷みも多くなりました。このまま運転を続けると最悪の場合、排水ができなくなります。

当ポンプ場は約六百町歩にも及ぶ周辺の住宅や農地などを水害から守り続けております。ポンプの稼働以来、大きな水害に見舞われたこともなく、ついポンプ施設の恩恵を忘れがちです。この際ポンプ場の果たす役割を再認識していただければと思っております。

尚、工事は平成十六年度から三か年計画で進めます。工事期間は非灌漑期で年間を通じて一番出水の少ない十二月下旬頃から翌年三月初旬頃にかけて行ないます。関係皆様方のご理解をよろしくお願いいたします。

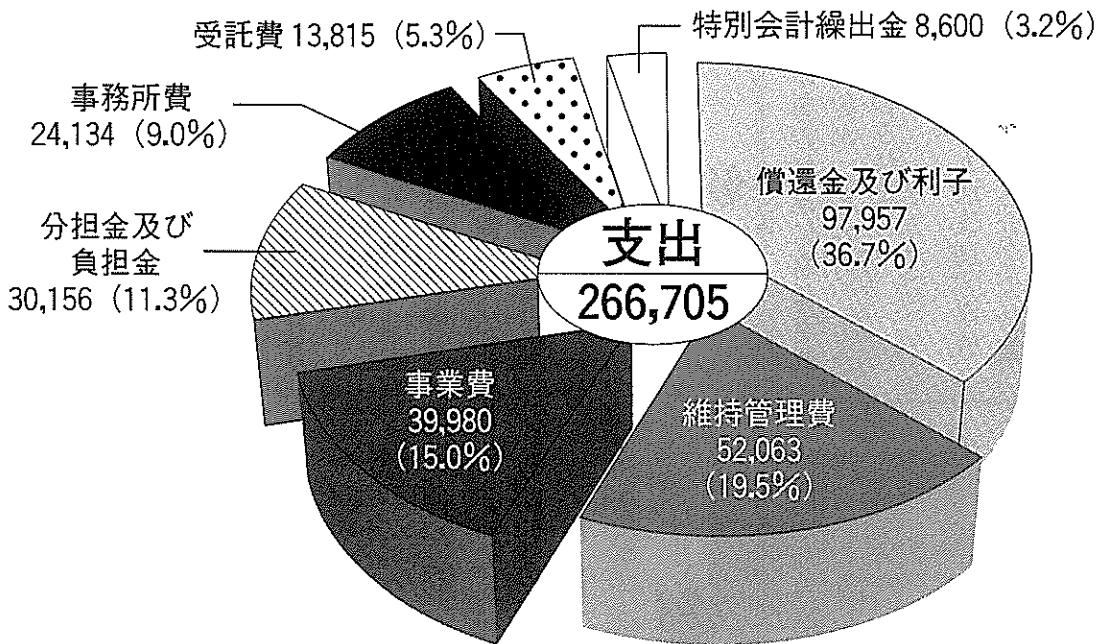
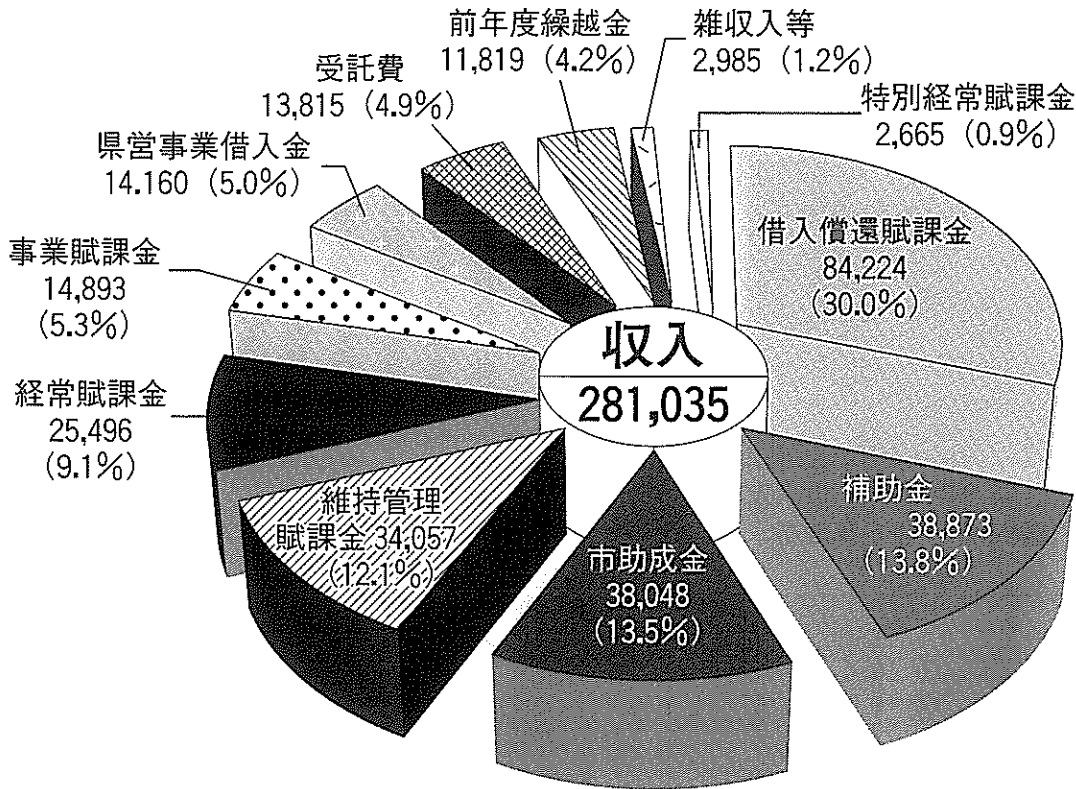


補修が必要なポンプが格納されている十二町潟排水機場建屋

【別紙】

平成15年度一般会計決算額の内訳

(単位：千円)



－特別会計－

転用決済積立金	267,971 千円	国・県営かんばい事業維持管理積立金	172,083 千円
役員退任慰労積立金	2,965 千円	国・県営かんばい事業維持管理修繕積立金	34,641 千円
職員退職給与積立金	106,806 千円	十二町潟管理区(3件)	58,427 千円
基本財産積立金	72,408 千円		

平成十六年度

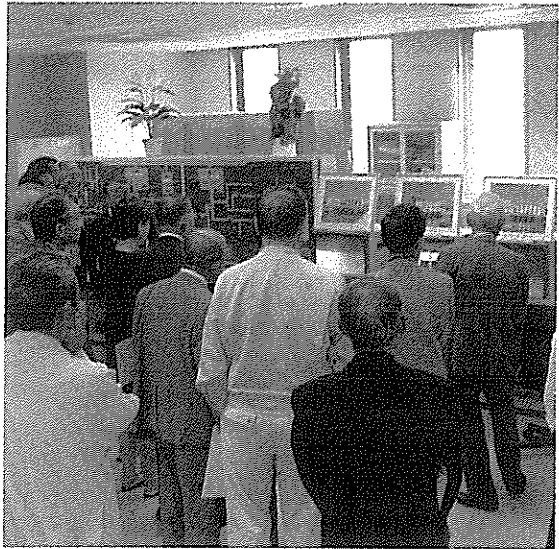
# 氷見市土地改良協会

## 通常総会

氷見市と市内四土地改良区及び十七の工区で組織する氷見市土地改良協会の通常総会が昨年五月二十八日午前九時三十分から氷見市土地改良区の事務所二階会議室で開催されました。来賓として市から飯原産業部長様をはじめ大門ふるさと整備課長様、林上下水道課長様のご出席を賜りました。

廣沢会長の開会挨拶につき飯原部長様から市長の祝辞が代読されました。

会則に基づき、会長が議長となり議事が進められ、平成十五年事業報告、収支決算及



視察研修先の射水平野土地改良区の排水機械場の操作パネル前で説明を受ける参加者

び特別会計収支決算の外二議案が上程され、いずれも原案のとおり可決承認されました。平成十五年度の収支決算は、収入総額が百九十六万七千六百七十七円、支出総額は百三十二万六千六百九十九円となり差引残額六十四万五千四百四十八円は次年度へ繰越となりました。平成十六年度予算は収支とも百八十六万五千円と見込まれております。

尚、総会終了後施設見学会を実施しました。見学した施設は我々と同じ防災用排水機場を所有している射水平野土地改良区でした。射水平野土地改良区の笹川常務理事様から懇切丁寧に説明していただき、大変有意義な現場視察となりました。

### 表彰

永年の土地改良事業の推進に寄与されたご功績により、左記の二名の方が土地改良功労者として表彰されました。

屋敷 市郎 氏

(氷見市土地改良区理事)

富山県土地改良事業団体連合会会長賞

寺田 博 氏

(氷見市土地改良区岩瀬工区長)

高岡土地改良協議会会長賞

おめでとうございました。これからも本市土地改良区の発展にご尽力賜りますようお願いいたします。

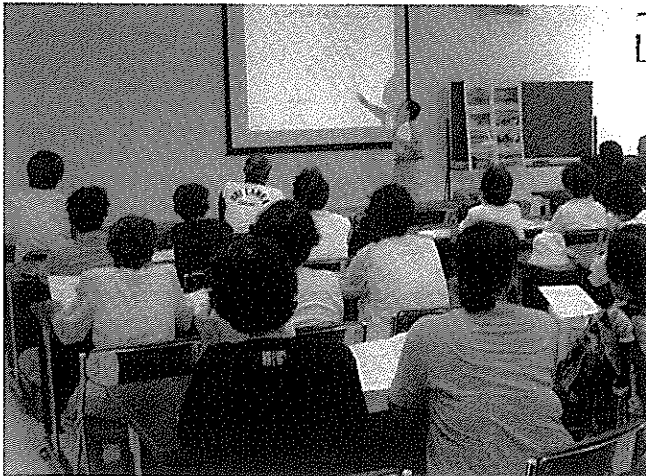
## 県政バス教室で

### 十二町瀉排水機場を見学されました。

見学されました。

昨年の八月五、六日の両日、県政バス教室事業の一環として県の呉東地区から八十五名が参加されて当排水機場を見学されました。

当日はOA機器を使って当排水機場が果たす多面的機能について説明しました。これからも土地改良区を理解していただくためにも積極的に見学会を受け入れるつもりです。



一昨年、当事務所2階会議室に取付ましたプロジェクターを使って県政バス教室参加者に水素里ネット氷見が管理する土地改良施設の多面的機能について説明しているところです。

# 「総代及び役員」任期満了となる

水見市土地改良区の総代は本年三月八日、また、役員は本年三月三十日をもってそれぞれ任期満了となります。

総代の定数は九十人で各選挙区において選挙すべき総代の定数は、次のとおり。

選挙区	選挙区域	総代数	選挙区	選挙区域	総代数
第1選挙区	宮田地区	5名	第11選挙区	加納地区	5名
第2選挙区	窪地区	5名	第12選挙区	稲積地区	2名
第3選挙区	神代地区	4名	第13選挙区	余川地区	3名
第4選挙区	仏生寺地区	5名	第14選挙区	碁石地区	5名
第5選挙区	布勢地区	3名	第15選挙区	八代地区	4名
第6選挙区	十二町地区	6名	第16選挙区	阿尾地区	5名
第7選挙区	上庄地区	7名	第17選挙区	藪田地区	2名
第8選挙区	熊無地区	6名	第18選挙区	宇波地区	5名
第9選挙区	速川地区	5名	第19選挙区	女良地区	6名
第10選挙区	久目地区	7名	計		90名

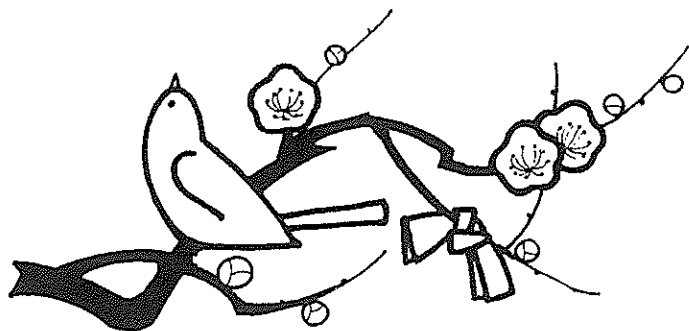
また、役員の定数は、理事二十一人（うち非組合員二人）及び監事四人です。役員は、総代会において選挙することになります。

組合員である役員の被選挙区及び区域から選挙すべき役員の数、次のとおり。

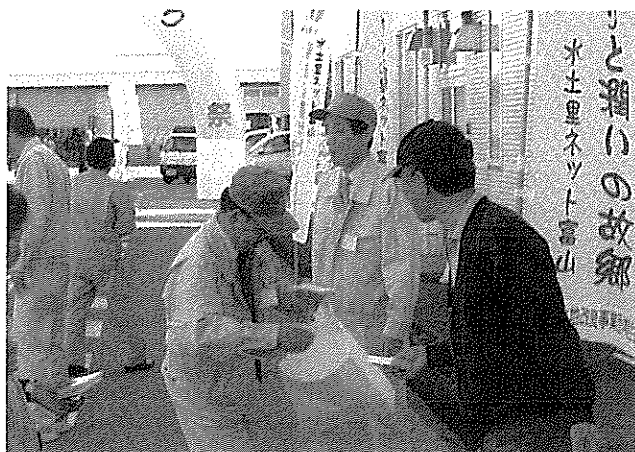
選挙区	被選挙区域	定数	
		理事	監事
第1被選挙区	宮田、窪、神代、 仏生寺、布勢、 十二町地区	6人	1人
第2被選挙区	上庄、熊無、速川、 久目地区	4人	1人
第3被選挙区	加納、稲積、余川、 碁石地区	4人	1人
第4被選挙区	八代、阿尾、藪田、 宇波、女良地区	5人	1人
計		19人	4人

【総代候補者の立候補の届出】  
選挙の期日の告示があった日から二日以内に文書でその旨を選挙長（理事）に届け出て下さい。

【役員候補者の立候補の届出】  
当該選挙の期日の告示があった日から選挙の期日の三日前までの間に、その旨を書面で市土地改良区に届け出て下さい。  
総代または役員に立候補する届出の詳細については選挙長または市土地改良区までお問い合わせください。



## トピックス



水土里ネット水見のPR

昨年も「食部水見キトキトまつり」で水土里ネットの織をたてて、ポケットティッシュの配布を行いました。



小学生の総合学習

十二町小学校の4年生の生徒さん達が昨年も当排水機場を見学して、その配水管の大きさに驚いたようです。

## 編集後記

昨年「記録的」とか「観測史上」というフレーズを何回聞いたことか？まさに自然災害に明け暮れた一年でした。特に隣県の新潟県中越地方で発生しました地震は我々を恐怖のどん底に陥れました。連日報じられる被災者の方々の厳しい生活環境を見るにつけ本当に心が痛みます。一日も早い復興を願って止みません。

世界の陸地面積の一パーセントにも満たないこの狭い日本には世界の自然破壊エネルギーの一〇パーセント以上が存在しているそうです。我々が住むこの地域も決して安全ではありません。今一度災害に対する備えを見直したいものです。

この度の新潟県中越地震を受けて農業工学研究所が農業用ダム・ため池の緊急調査が実施された旨のプレスリリースがありました。それによると、調査した農業用ため池は土砂崩れによる大量の土砂を貯留し、下流域に流出することを防止する機能を発揮したことが明らかになったそうです。例えば、栃尾市赤谷地区のびわ崎池付近の上流で多くの地すべりが発生して下流の民家十件が緊急避難しましたが、ため池が土砂流出を防いだことから下流の民家だけでなく、その下流域にある栃尾市街地にも土石流による二次災害を免れたそうです。水見市内でも桑の院ため池など多くの農業用ため池があります。これからは「ため池」

が潜在的に持っているプラス面を積極的に伸ばして、地域の安全対策に生かしてゆくことが必要かと思えます。

小生は昨年も多くの農地転用申請図書に決済させていただきました。ここ数年は転用面積が約一〇町歩位で推移しております。農地や農業用水などの地域資源は長い歴史の中で形成され、維持され、そして地域に住む人々が共同して維持保全してきた社会的共通資本だと思います。一旦崩壊すると復元が不可能です。アメリカの総務省が滅びてしまった世界の一〇〇都市を回ったところ、気がついた共通点は都市の周りの農村が荒廃していたことだったそうです。都市は動かすことはできても農村の資源は動かすことができません。動かすことができないかわりに、豊かにもなるし、貧困にもなるし、荒廃もするという特徴があります。転用申請には地元の区長や地区の役員の手意がなされておりますが、今一度地元の地域資源を見直されて、転用が本当に受益者のためかどうかを慎重に判断していただきたいと思いつつ決済をさせていただいております。

今年酉年。酉年は、その漢字の形から見て分かるように、『醸し出された酒』がキーワードとなります。未年から収穫されたコメから申年の神妙な力を借りて、酉年の酒がでます。酉年という新春の酔い(宵)を夢見ながら編集させていただきました。

編集人 久保 吉明